

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポムリエ サード (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 25日		R7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 25日		R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 2名	(回答者数)	2名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた個別プログラムの提供	個々の成長に合わせ遊びを通して体幹を鍛えたり、新しいことにも少しずつ挑戦していけるようにしている。	引き続き、療育を通してスタッフ間で話し合いをし、個々の成長に合ったプログラムの提供に取り組む。
2	利用児童1人1人にスタッフが付き、スタッフとのやり取りや友だち同士でのやりとりが丁寧に見える。	利用児童のタイミングで安心してスタッフや利用児童同士でのやり取りができ、コミュニケーションや言葉でのやり取りが増えるよう取り組んでいる。	スタッフや利用児童同士でのやり取りを通して、声のかけ方や言葉での伝え方を学んでいけるよう取り組む。
3	利用児童が安心して楽しく通える場所の提供	玩具や遊具の絵カードを通して、利用児童自身で遊びを選択したり身体を動かして遊ぶことで楽しく気持ちの発散ができるようにしている。	利用児童の思いを尊重し、今後も楽しく通える場を提供していけるよう心がける。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設定時間内の支援のため、保護者とのコミュニケーションが少なくなってしまう場合がある。	支援時間のインターバルの短さもあり、すぐに次の枠の利用児童が来てしまい、対応が難しくなる。	支援時間のインターバルの延長を検討し、時間を作る。
2	スタッフ間の情報共有の質と量に差が生じている。	情報共有の方法と競技時間の変更を検討する。	カリキュラムの変更
3			